

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 4 月 15 日 (2021.4.15)

【公開番号】特開 2019-122489 (P2019-122489A)

【公開日】令和 1 年 7 月 25 日 (2019.7.25)

【年通号数】公開・登録公報 2019-030

【出願番号】特願 2018-3716 (P2018-3716)

【国際特許分類】

A 4 7 F 3/04 (2006.01)

F 2 5 D 23/02 (2006.01)

【F I】

A 4 7 F 3/04 E

F 2 5 D 23/02 3 0 2

F 2 5 D 23/02 3 0 3 J

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 3 月 3 日 (2021.3.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

上方に開口したケースに用いるシャッターアセンブリであって、
長方形の枠体と、その枠体の開口を開閉するシャッター本体とを有し、
前記枠体は、平行に相對する一対の左右枠と、平行に相對する一対の前後枠とを備え、
前記一対の左右枠の内壁には、それぞれ長手方向に延びる 3 本以上のガイド溝が上下平行に形成されており、
前記シャッター本体は、3 枚以上の長方形のスライド板と、上下に隣接しているスライド板を連動させる連動機構とを備え、
前記シャッター本体は、前記スライド板が前後方向に階段状に並んで前記枠体の開口を閉じ、前記スライド板が上下に重なって枠体の開口を開く、
シャッターアセンブリ。

【請求項 2】

前記連動機構は、前記スライド板の左右側辺の前側の上方または後側の下方に突出した一対の凸部と、前記スライド板の左右側辺の下方または上方に前後方向に延びる一対の溝と、それぞれの溝の前後端を閉じるストッパ壁とを備えている、
請求項 1 記載のシャッターアセンブリ。

【請求項 3】

前記スライド板は、光透過性の合成樹脂の板本体と、その左右側辺に固定されたスライダーとを備え、
前記スライダーが、前記ガイド溝をスライドするスライド突起と、前記連動機構とを備えている、
請求項 1 または 2 記載のシャッターアセンブリ。

【請求項 4】

前記スライド板は、光透過性で平板状の板本体と、その左右側辺に固定された一対のスライダーとを備え、
前記スライダーが、前記ガイド溝をスライドするスライド突起、前記上面または下面に設

けられる凸部と、前記下面または上面に設けられる前後のストッパ壁とを備え、
前記スライダーの凸部が上下に隣接するスライダーの前記前後のストッパ壁との間を移動
することによって前記連動機構を構成する、
請求項 1 記載のシャッターアセンブリ。

【請求項 5】

前記スライド板は、板本体の前辺および／または後辺に固定されたスペーサーをさらに備えている、

請求項 3 または 4 記載のシャッターアセンブリ。

【請求項 6】

冷却装置を備え、上方に開口したケースと、その開口部に取り付けられた請求項 1 ～ 5 いずれか記載のシャッターアセンブリとを有する、
冷凍・冷蔵ショーケース。